

つた

■ 特集

議会を知ろう
「議案審議」って、どう進むの!?

■ 令和4年度決算報告

■ 7月臨時会・9月定例会報告

議会だよりは
こちらからも
ご覧いただけます▶



8月26日・27日
みそみスマイルキャンプ

特集 議会を知ろう

議案審議って、 どう進むの!?

町長から議会に提出された議案(条例や予算等)が、本会議に提出されてから決定するまでの、審議の進み方について知ろう!!



☆本会議☆委員会
傍聴できますよ!
ぜひ見に来て
くださいネ!



その後、
給食費の値上げは
中止されました



給食費を値上げしないために「国・県からの支援も含めて、積極的に財源を確保する事」などの要望を予算執行に対して附けたという事です。
(議会だより第72号6P参照)



たった今可決したばかりの、この議案に対する**附帯決議**の動議が出され、**採決**において議員全員の賛成で可決されました。



「令和5年度一般会計当初予算」の**委員会審査が予算決算常任委員会**にて行われ、「保育所、小中学校の給食費の値上げ」の項目で紛糾するも「予算全体の否決はできない」と判断され、本会議の**採決**においても、可決されました。

3月の議会定例会において **5年ぶり**

附帯決議

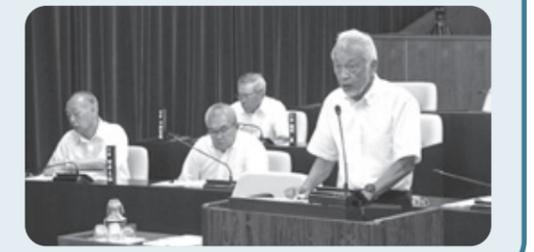
コレを解説!

附帯決議とは...
議決にあたり議会の意思として附すもの。法的拘束力はないが、理事者*にとって、ないがしろには出来ないもの。



一般質問

議案審議とは別に行われます。議員が年4回の定例会において、町長をはじめ理事者*に対して、行財政全般について感じた事や、町民の意思を反映させるために行う質問です。



令和4年度 決算を認定

9月定例会 8月29日(火)～9月20日(水)

実質公債費比率 14.2%

公債費による財政負担の程度を示す数値
前年度比 0.6ポイント減

※公債費(地方債)の一般財源に占める割合。比率が高くなると財源を圧迫することになる。

一般会計
歳出総額

114 億5,867万円

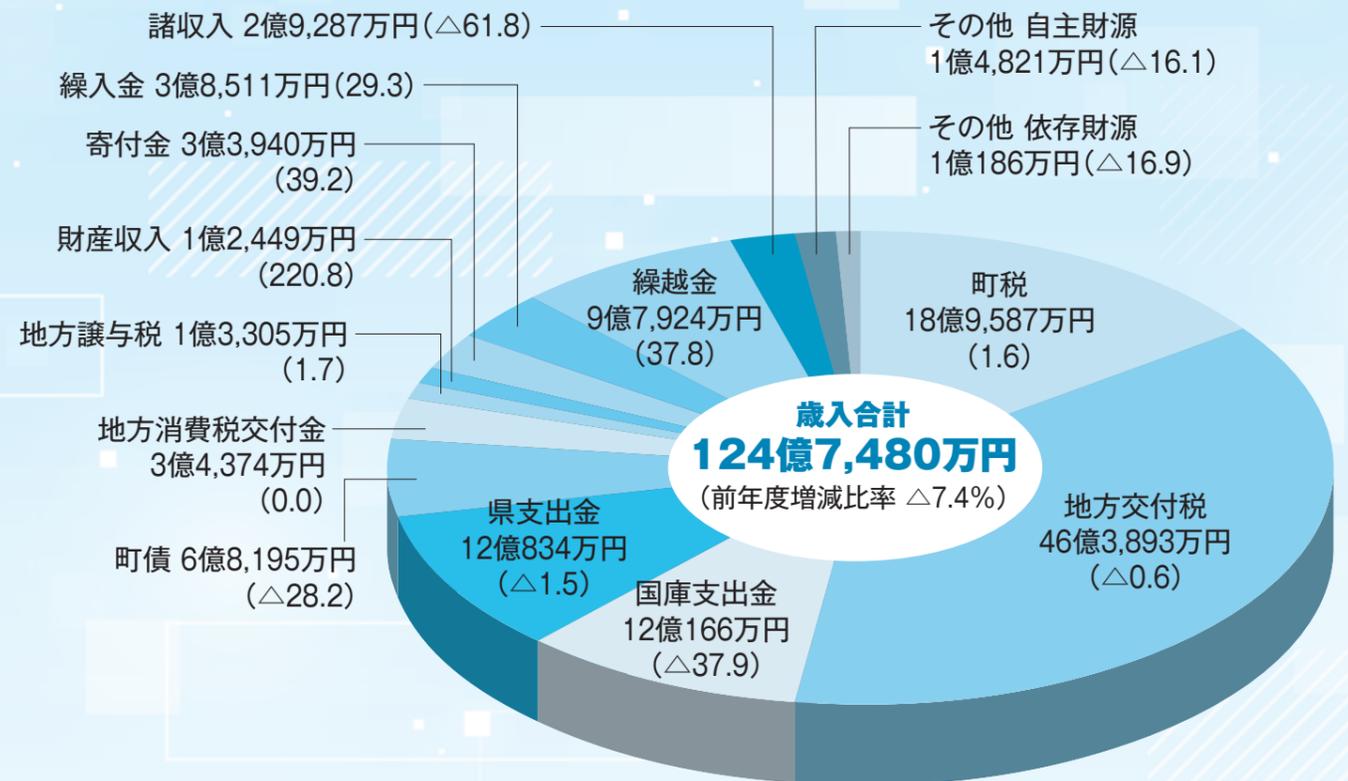
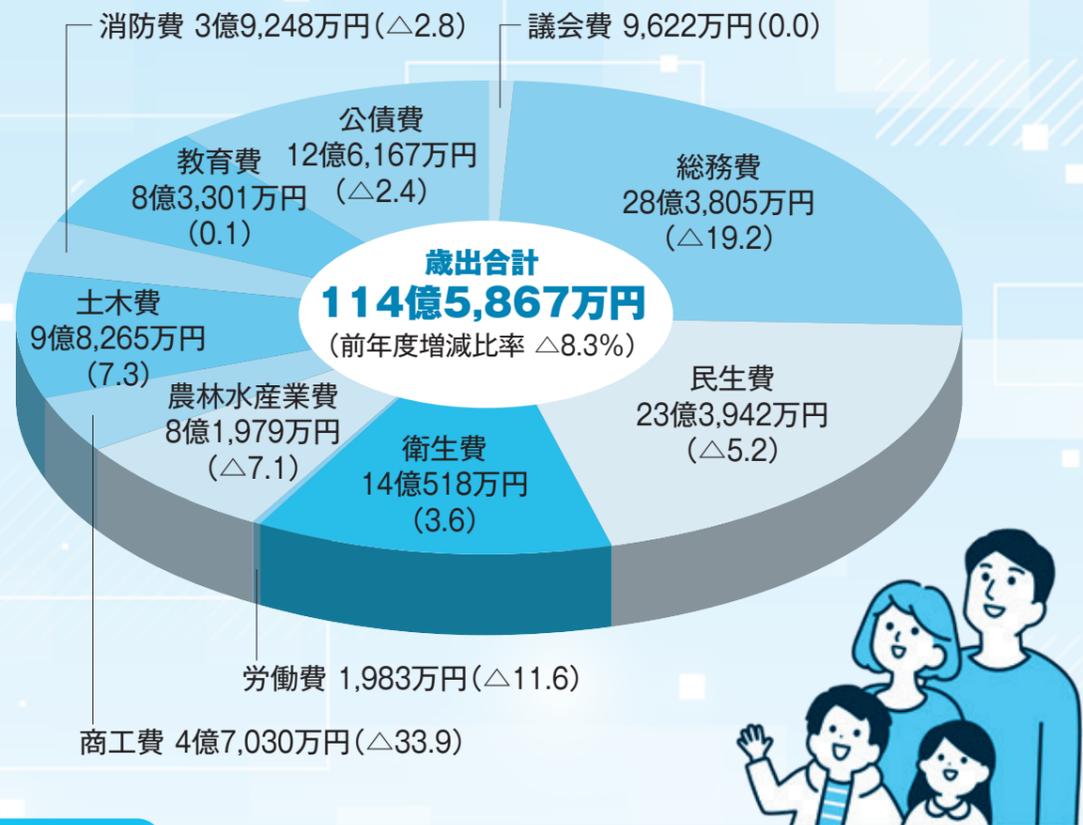
歳入 自主財源 33.3%
依存財源 66.7%

? 私たちの税金はどう使われたのか?

支出は 町民一人当たり
約83万円
(対前年度比 6万円減)

一世帯当たり
約231万円
(対前年度比 21万円減)

※令和5年3月31日時点の人口、世帯数で計算



※金額は万円単位で表しているため合計と一致しません。
※()内は、前年度増減比率(%)です。

特別会計

特別会計名	歳入	歳出	特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険	16億6,744万円	16億6,442万円	農業集落排水処理事業	4億892万円	3億9,359万円
後期高齢者医療	2億1,812万円	2億1,808万円	漁業集落排水処理事業	4,475万円	4,469万円
直営診療所	1億892万円	8,809万円	公共下水道事業	7億4,686万円	5億7,320万円
介護保険	20億2,177万円	18億7,362万円	町営住宅等	3,792万円	2,729万円
農業者労働災害共済事業	814万円	519万円	土地開発事業	1億1,367万円	1億1,367万円

企業会計

企業会計名	区分	収入	支出	差引
水道事業	収益的	3億8,908万円	3億4,787万円	4,121万円
	資本的	3億3,008万円	5億5,228万円	△2億2,220万円
工業用水道事業	収益的	2,602万円	3,266万円	△663万円
	資本的	0万円	90万円	△90万円
上中診療所事業	収益的	4億6,609万円	4億6,699万円	△90万円
	資本的	390万円	3,501万円	△3,111万円

※金額は万円単位で表しているため差引と一致しません。

9月定例会

開催期間 8月29日(火)～9月20日(水)

補正予算 一般会計に7億3,668万円を増額補正

令和5年度の総額は**125億3,461万円**に

主な歳出 (千円単位は切り捨て)

事業内容	補正額
次世代定住促進事業(29歳以下夫婦支援事業補助金等)	390万円
財政調整基金費(積立金)	4億8,000万円
障害福祉施設等物価高騰対策支援事業(支援金)	144万円
高齢者福祉施設等物価高騰対策支援事業(支援金)	653万円
高齢者予防接種事業(インフルエンザ予防接種公費負担分)	730万円
清掃総務費(道路整備に伴う物件調査(向笠)、ごみ中継施設運営費(日笠))	947万円
ふるさと納税返礼品魅力アップ事業(返礼品支援事業補助金)	432万円
除雪対策事業(委託料、賃借料等)	7,337万円
道路維持修繕事業(測量調査設計業務(気山)、補修工事等)	3,540万円
狭あい道路整備等促進事業(測量調査設計業務(向笠)、舗装改良工事(藤井))	987万円
舗装改良事業(井崎、無悪、瓜生、三宅)	2,180万円
町道1503号線改良事業(実施方法の見直しに伴う減額)	△1億1,700万円
三方プール管理事業(三方プール解体工事)	4,282万円
体育館管理事業(三方勤労者体育館解体工事)	9,166万円

主な歳入 (補正額) (千円単位は切り捨て)

◆ 国庫支出金	2,343万円	◆ 繰越金	6億8,128万円
◆ 県支出金	543万円	◆ 諸収入	650万円
◆ 繰入金	1,057万円	◆ 町債	810万円

特別会計・企業会計 (千円単位は切り捨て)

特別会計名	補正額	合計額	特別会計名	補正額	合計額
国民健康保険	655万円	18億6,186万円	町営住宅等	1,063万円	4,381万円
後期高齢者医療	3万円	2億2,935万円	土地開発事業	848万円	1億3,122万円
直営診療所	2,081万円	1億2,880万円			
介護保険	1億2,821万円	20億7,868万円			
農業者労働災害共済事業	354万円	477万円			

企業会計名	補正額	合計額
水道事業	3,727万円	12億2,475万円
下水道事業	1,843万円	17億7,376万円

令和4年度 一般会計決算より

税金の身近な使いみち

子育て支援

★児童手当事業 1億9,020万円	★子育て包括支援事業 2,100万円
★地域子育て支援拠点事業 2,177万円	★出産・子育て応援ギフト事業 810万円

教育・文化

★給食センター費 (調理・配送・施設整備維持管理) 1億5,675万円	★放課後児童健全育成事業 (児童クラブ運営) 3,715万円
★文化財保護事業 325万円	★公民館公衆無線LAN環境整備事業 (Wi-Fi設置) 323万円

保健・福祉

★障害者介護給付費事業 (居宅介護・短期入所等) 1億9,788万円	★乳幼児等予防接種事業 2,926万円
	★健康づくり事業 262万円

生活・環境・安全

★音声告知システム更新事業 (上中地域端末の更新) 1億3,312万円	★防災諸費 (Jアラート等防災設備維持管理、 自主防災組織支援補助等) 2,122万円
★デマンド運行事業 3,496万円	★交通安全施設整備事業 1,772万円

観光

★若狭アドベンチャーツーリズム 拠点整備事業 1億9,268万円	★道の駅管理運営事業 1,877万円
★サイクルツーリズム推進事業 842万円	★三方五湖の多様な自然を 楽しめる飲食空間づくり支援事業 1,200万円

常任委員会報告

令和4年度決算審査報告

◆令和4年度決算審査

認定第1号「令和4年度若狭町一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について」は委員多数の賛成で、認定第2号「令和4年度若狭町水道事業会計、若狭町工業用水道事業会計及び若狭町国民健康保険上中診療所事業会計決算の認定について」は、委員全員の賛成で、認定するべきものと決定。

主な質疑事項

○一般会計

▼総合政策課関連

問 公共交通推進事業のJRBバス利用促進補助金とJR小浜線利用料助成の利用者の延べ人数は。

答 JRバス利用促進補助金は10月から3月まで40人に支援した。JR小浜線助成は、年間で普通乗車券706件、定期券が569件、回数券が102件である。

▼観光商工課関連

問 キャッシュレス決済推進事業で加盟店が、キャンペーン前133店、キャンペーン後155店で42店増となっている。当初の目標に達しているのか。

たのか。

答 キャッシュレス決済はペイペイポイント付与を令和4年9月から実施し、消費応援キャンペーン「わかさ割」の発行では、102店舗加盟であったが、その後キャッシュレス決済推進事業で42店舗増となった。加盟の目標値を決めて取り組み、他市町と比べて推進が図られたと考える。

▼建設課関連

問 町道10号線の用地買収と立木補償の予定箇所は終わっているのか。

答 令和4年度実施の用地買収、立木補償は、令和5年度工事の国道から200mまでの部分であり、それより先は地籍混乱を起こしており現在調査中である。

▼産業振興課関連

問 有害鳥獣対策事業について、加工施設には、町あるいは嶺南市町は関わっていないのか。

答 加工施設は若狭町が整備し、管理を委託している。機械整備など加工にかかる経費のうち、機械代は補助金として支出している。

令和5年度補正予算審査報告

◆令和5年度補正予算審査

議案第51号「令和5年度若狭町一般会計補正予算(第3号)」から議案第60号「令和5年度若狭町下水道事業会計補正予算(第1号)」までの10議案を審査し、全議案、委員全員の賛成で可決すべきものと決定。

主な質疑事項

○一般会計

▼総合政策課関連

問 次世代定住促進事業の新婚新生活支援事業の見込み数、及び算定方法はどのようになっているのか。

答 当初予算同様、要件の県主催の共家事講座受講者は、対象となる婚姻届け出数の5割程度と見込んでいる。

▼観光商工課関連

問 観光宣伝事業の学生合宿促進事業補助金は、どのような利用者があったのか。また新規利用者は増えているのか。

答 対象者は県外の中・高校生並びに大学生である。これまでの実績は90人申請を受けている。県も県外者の合宿に力を入れており、新規誘客を今後も推進していく。

▼福祉課関連

問 子ども医療費助成事業の高校生分はいくらになるか。

答 高校生への助成は令和4年10月から、345万8,751円である。

▼子育て支援課関連

問 出産・子育て応援ギフト事業とあかちゃんスマイル事業で、子育て応援(出生時)の対象者は59名、あかちゃんスマイル事業では出生73名となっているが、この差は何か。

答 出産・子育て応援ギフト事業は国庫事業のため、3月までに支払った方の実績。あかちゃんスマイル事業については、令和4年度中に生まれた方である。

▼パレオ文化課関連

問 若狭町立図書館運営事業について、夏休みジュニア司書養成講座等の企画は業務委託先かパレオ文化課なのか。また、ジュニア司書とは何か。

答 企画は町図書館司書が行っている。ジュニア司書とは子どもたちの読書推進のために県が独自に設けた制度である。要綱に基づき町が募集をかけた実施した。

▼教育委員会関連

問 福井県日本中国友好協会負担金とかがあるが、この負担金はどのようものか。町が負担金を出さなければならない理由は何か。

▼建設課関連

問 道路改築事業の町道1503号線の橋梁下部工事は、1年延期になったが、来年はできるのか。地域住民へも説明をお願いする。

答 来年の財源確保に向け、県、国交省とも協議している。区への説明もさせていたたく。

▼子育て支援課関連

問 子育て応援事業の福井県「ふく育」について、デジタル地域通貨の対象者の基準日はいつか。

答 対象世帯の基準日は令和5年9月1日である。また妊娠されている方も対象である。

▼教育委員会関連

問 三方プール解体工事及び三方勤労者体育館解体工事において、工事施工監理委託をする理由は何か。

答 解体工事ではあるが、アスベスト除去にかかる工事となるため、安全な工事監理をしていただくためである。

○土地開発事業特別会計

問 買い戻した土地の再販価格はどのようになっているのか。

答 再販価格については買い戻した価格と同様と考えているが、周辺の下落率なども考え設定する。

ないといけない理由は何か。

答 福井県と中国浙江省が1990年に友好協力協定書を締結し、県内の各市町でも会員として組織を成し日中友好協会が設立されている。負担金については国際交流の観点と認識している。町の支出のあり方については確認させていただく。

反対討論

マイナンバーカード交付促進事業で普及目的に商品券を配布したが、普及方法として、丁寧に説明するなど他に方法があると思う。予算案にも反対討論をしたが、その後執行されており、一般会計決算については不承認。

○国民健康保険特別会計

問 被保険者の減少について、療養給付費が去年より少なくなっている。給付費の減少は、患者が少なくなったのか、保険を掛けている人が少なくなったのか。

答 被保険者数については、令和4年4月は3,027人で令和5年4月には2,869人と減っている。被保険者数と全体の医療費も減っている認識である。

○介護保険特別会計

問 介護保険等の給付費は、国保連合会からの請求により支払っている

教育厚生常任委員会

本委員会に審査を付託された案件は議案1件、請願1件。

【議案1件】

委員全員の賛成をもって可決すべきものと決定。

○若狭町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

国の放課後児童健全育成事業実施要綱の改正に伴い、条例を改正するもの。

主な質疑事項

問 改正の主な内容は。

答 毎年、期間が1年ずつ延長される形であったものが、「当分の間」と改正されるので、「無期限化」とされることになるもの。但し、従事してから2年以内に当該研修を修了することが必要で、基本的には約1年間実務経験をしたうえで資格を得る研修を受けることになる。

【請願1件】

採決の結果、委員の賛成少数により不採択すべきものと決定。

○「健康保険証を持っていない人」をつくり出す健康保険証廃止の中止を求める請願

健康保険証のマイナンバーカードへの一体化の中止を、日本政府に提出することを願う内容のもの。

9月定例会

議員賛否一覽

議長は、採決に加わりません。
○賛成 ×反対

賛否背景は各質疑事項(P8~10)をご参照ください。

議員名	採決月日	谷川暢一	川島富士夫	西村毅	倉谷明	増井文雄	藤田正美	熊谷勲信	島津秀樹	辻岡正和	坂本豊	今井富雄	北原武道	松本孝雄
令和4年度若狭町一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	9/20	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○
「健康保険証を持っていない人」をつくり出す健康保険証廃止の中止を求める請願	9/20	×	×	×	×	×	○	×	×	-	×	×	○	×

討論



認定第1号 令和4年度若狭町一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

反対討論

北原武道議員 昨年の12月議会、一般会計補正予算案(第6号)に反対

した。これは年度未までに、マイナンバーカードを所持している町民にだけ5千円の商品券を配るための予算であった。そもそも、マイナンバーカードの所持は任意で個人の自由意思に基づく。自由意思を差別し町民個人に公金を支給することを行政が行うべきではない。

残念ながらこの予算は執行された。よって、この一般会計の歳入歳出決算を全面的に認めることはできないため反対である。

請願第2号 「健康保険証を持っていない人」をつくり出す健康保険証廃止の中止を求める請願

賛成討論

北原武道議員 6月2日、マイナンバー法の改正等により、将来、健康保険証を廃止し、マイナ保険証に一本化することが決定された。

この国会審議の中で、マイナ保険証を持っていない人が出ること等が問題となり、マイナンバーカードを持たない人には資格確認書を発行することが決まった。しかし、資格確認書について詳しいことはまだ決まっていない。

8月4日、岸田首相の記者会見があり、翌日の『県民福井』は、「『撤回』の声なぜ届かぬ」と題した論説を掲載している。本請願は採択すべきと考える。



反対討論

今井富雄議員 現行のマイナンバーカードでは、紐付けの誤り等、不整合な事象が検出され、大きな話題となっている。請願ではこのことを取り上げ、健康保険証を持っていない人をつくり出すという根拠が明確でない憶測論で請願を正当化していると言っても過言ではない。

しかし今、政府では、現行システムの問題の洗い出し作業の最中で、システムの改修に精力的に取り組んでいる。来年の秋、現在の健康保険証が廃止されるまでには、さらに利便性と信頼性が高くなった世界に誇れるマイナンバーカードシステムが構築され、ほとんどの国民が手軽に用いることができるようになるのではないかと。

SDGs、誰一人取り残さない持続可能なより良い社会の実現という世界共通の目標達成に向けて取り組んでいる私たちの国には当てはまらない文言を用いた請願内容であり、請願に反対する。

主な質疑事項

問 保険料を払っていても診療を受けられない人が出てくるとは、どういふことか。

答 一体化してしまつと、マイナンバーカードを持ってない、使えないという人は、健康保険証が無いのと同じで、事実上診療を受けられない。

反対討論

現状、このことに対するカバーができており、SDGsの観点に基づき誰一人取り残さないという施策が取られるはずであるため、本請願については反対する。

賛成討論

マイナンバーカードは任意だがどうしても持ってもらいたいという政府の強い意向が原因でトラブルが起きている。資格証明書を使いなさいという形にすると、問題はおそろしく拡大する。踏み止まって考えたほうがよいと考え、本請願に賛成する。

反対討論

今、与党の中でも議論されている最中であつて、請願時点から状況が変わってきている。国で検討されている段階であり、どう対処するのか見守る状況(時期)であり、本請願には反対する。

反対討論

そもそもマイナンバーカードにするという行為は、患者の情報を得ること

ができるというメリットがあつた。今、マイナンバーカードの手続き上いろいろ問題が出ており、与党内でも来年秋の健康保険証廃止は少し延期するといふ話も出ている。もう少し検討の余地があるため本請願には反対する。

総務産業建設常任委員会

本委員会に審査を付託された案件は議案1件。

【議案】

委員全員の賛成をもって可決すべきものと決定。

町道路線の変更について

武生地係における町道4505号線の終点変更によるもの。

主な質疑事項

問 町道路線変更は土地改良区で行っている多面的機能支払い交付金の長寿命化事業で舗装を可能にするための対策だと思つ。多面的機能支払い交付金の施策はどうなっているか。

答 長寿命化事業で舗装を行う場合には町道から外す必要がある。町道路線の認定、廃止、変更は、それぞれの要件、基準に基づき行い、今回は一部廃止、変更の判断をした。

7月臨時会

7月20日に採決され全員賛成で可決された議案

- ・工事請負契約の締結について(令和5年度町道3310号線防護柵設置工事)

9月定例会

9月20日に採決され全員賛成で認定・可決された議案

- ・令和4年度若狭町水道事業会計、若狭町工業用水道事業会計及び若狭町国民健康保険上中診療所事業会計決算の認定について
- ・若狭町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ・令和5年度若狭町一般会計補正予算(第3号)
- ・令和5年度若狭町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- ・令和5年度若狭町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- ・令和5年度若狭町直営診療所特別会計補正予算(第1号)
- ・令和5年度若狭町介護保険特別会計補正予算(第1号)
- ・令和5年度若狭町農業者労働災害共済事業特別会計補正予算(第1号)
- ・令和5年度若狭町営住宅等特別会計補正予算(第1号)
- ・令和5年度若狭町土地開発事業特別会計補正予算(第1号)
- ・令和5年度若狭町水道事業会計補正予算(第1号)
- ・令和5年度若狭町下水道事業会計補正予算(第1号)
- ・町道路線の変更について



倉谷明 議員

学校教育におけるプール授業の今後を伺う

教育委員会事務局長

適切な水泳場の確保が困難な場合に今後、座学での授業となることも考えられる

町のスポーツ振興策は

問 小学5年、中学2年対象の2022年度体力テスト結果の水準はどうか。

答 福井県は全国トップ水準を維持。その中で若狭町の小学、中学ともに県平均以上の成績であった。

問 運動の楽しさを知って「好き」になってもらうための工夫をしているか。

答 各学校でスクールプランを作成しており、目標を設定している。例えば、縄跳びや鉄棒などでも、できる技によって階級を設けたりして、目標を達成した喜びと次へ挑戦する気持ちの醸成を図っている。

問 町の子育て・教育に関するスポーツ振興への取組みの現状と今後の策

「地域へのび・住みよき集落」への取り組み

問 人口減少化により集落自治会の区長、各役員が足りない。集落自治運営問題、スリム化についてどの様にお考えか。

答 人口減少化では平成28年から令和3年の6年間で10.4%の減少。人口減少率を現状の半分に抑制することが目標。「集落活動の活性化支援」の施策では集落の地域条件や実情に合わせた活性化の取り組みを住民と行政が役割を分担しながら協力して推進していく。課題の解消には「第3次集落計画」集落ヒアリングを通じて、生の声を聴きながら現状を把握し、協働の町づくりに進めていく。



藤田まさみ 議員

第2次若狭町総合計画(中期基本計画)について伺う

町長

人口減少率を現状の半分に抑制することが目標

を伺う。

答 総括コーディネータを配置し、三方中剣道部と上中ソフトボール部の活動を支援している。子供たちがスポーツ活動に親しむことができる機会を確保するため、学校と地域との連携で発展させる。

プール授業の後は

問 各学校の施設維持費は年間どれくらいか。

答 今年度開放した上中地区の5つの小学校プールは水道代、洗浄点検費用など5校合計でおよそ280万円。

問 中学校2校のプール実技の中止とプールの解体は生徒・保護者に伝えてあるか。廃止への反応はいか

「快適に暮らせる住環境整備」について

問 政府が推奨している官民連携方式により民間事業所が公共施設等の建設をして、行政側がその施設を使用する政策を導入している自治体も増えている。子育て世代の定住人口増進に向けた、複合施設を兼ね備えた分譲マンション建設の民間活力導入について、ご見解を伺う。

答 快適に暮らせる住環境整備となるスマートエリア構想を実施している。地域住民や地域民間事業者と連携しながら、若い世代が「新たに住みたくなる」安心して「住み続けたい」住環境づくりに進めていく。

「安全・安心を協働で築く幸せなまちへ」について

問 「協働」で守る地域防災と「防犯」として防災体制の整

答 水泳授業の実技中止の連絡や調査はしていない。

問 今後の水泳授業の形は。水泳の指導は適切な水泳場の確保が困難な場合でも、水泳の事故防止の心得、応急手当は必ず取り上げる。



撤去が決まった三方プール



いっばんしつもん

質問

(文責：質問者本人)



熊谷勘 議員

観光施設「道の駅三方五湖」の整備について

町長

道の駅を含む周辺エリア全体で空間整備構想を策定し、一体的に進める必要がある

道の駅三方五湖の再整備について

問 来春に迫った北陸新幹線敦賀開業により多くの観光誘客に繋げるために、兼ねてからの懸案である道の駅三方五湖の飲食スペースを備えた再整備の可能性はどうか。

答 道の駅周辺を若狭湾、三方五湖エリアの観光拠点として磨き上げる必要があり、空間整備構想を策定し、一体的に進める必要があると考えている。

問 食を求めて来訪する観光客への「若狭牛」の提供と新たなスポットとして「嶺南牧場」の活用について伺う。

答 「若狭牛」は優れた肉質で知られ、古くから若狭地方で飼育されてきた高級ブランド牛となっており、若狭牛の子牛と受精卵を県内の畜産農家などへ供給しているのが嶺南牧場で、ミニ動物園として生き物とふれあえる牧場である。教育旅行の自然体験学習プログラムの一環として、普段できない干し草等のエサやり体験を通じ若狭牛のPRや観光誘客に繋ぐことは可能と考える。

防災・災害対策について

問 災害を想定した防災訓練、普段から災害の現実に沿った訓練をどのように実施しているのか。また、職員の危機管理体制の意義付けをどのように行っているのか。

答 関係機関の協力を得ながら、町民の生命、財産を守ることを目的に若狭町防災訓練を毎年実施し、一時避難訓練や各地区の小学校等の避難訓練、避難所の開設訓練を行いながら、災害時の対応を確認している。また、職員への危機管理体制については、災害発生時における職員の緊急連絡と配備体制を示し確認させるとともに、各課における職員の緊急連絡体制を構築させ災害発生時には迅速な対応を期するよう指示している。特に梅雨時期や台風による気象状況の悪化が予想される時には、職員に対し、今後の気象状況の推移予測を伝え警戒させるとともに「災害時における職員初動体制マニュアル」を再確認するよう指示している。

問 最近10年間の本町におけるがん検診の受診率を伺う。

答 肺がん48.0%・胃がん30.7%・大腸がん51.5%で、国の目標値の50%を胃がん以外はほぼ達成している。

問 がん検診の受診率向上のために取り組んだ事はないか。

答 これまでは各集落の保健推進員に対し、がんについての研修会を開催し、検診の重要性を認識してもらうことで、町民の受診動向を高めてもらっている。今後は民間の保険会社と包括連携し、各種イベント

答 関係機関の協力を得ながら、町民の生命、財産を守ることを目的に若狭町防災訓練を毎年実施し、一時避難訓練や各地区の小学校等の避難訓練、避難所の開設訓練を行いながら、災害時の対応を確認している。また、職員への危機管理体制については、災害発生時における職員の緊急連絡と配備体制を示し確認させるとともに、各課における職員の緊急連絡体制を構築させ災害発生時には迅速な対応を期するよう指示している。特に梅雨時期や台風による気象状況の悪化が予想される時には、職員に対し、今後の気象状況の推移予測を伝え警戒させるとともに「災害時における職員初動体制マニュアル」を再確認するよう指示している。

問 65歳以上の高齢者に対する季節性インフルエンザワクチン接種にかかる公費補助が、他の市町より少ない。公費補助の増額で負担の軽減を。

答 インフルエンザの罹患により高齢者の重症化につながる事も多いことから、予防接種を推奨している本年度は、個人の経済的な負担をより軽減するため助成額を増額する。

問 国は予算を意図している。教育委員会と学校が連携して取り組むべきではないのか。

答 今後子ども視点にたった読書活動の推進、学校図書館の配備の充実に努めていく。

パートナーシップ宣誓

制度の導入は、現時点では考えていない

問 県はこの秋にパートナーシップ宣誓制度の導

高齢者の季節性インフルエンザワクチン接種への公費補助を増額できないか

町長

個人の経済的な負担を軽減するため、本年度において助成額を増額する



さかもと ゆたか 議員

若狭と言つご当地ナンバーについて

町長

登録台数の要件から嶺南全域が必要

問 ご当地ナンバーを作るための基準はあるのか。

答 「ご当地ナンバー」とは、「新たな地域名表示ナンバープレート」の通称で、導入するための基準については、単独市区町村で導入する場合、「地方運輸局の登録車数が10万台以上、または、登録車と軽自動車との合計が17万台以上」となっている。

また、複数市区町村で導入する場合は、「当該地域内で登録車数が5万台以上、または、登録車と軽自動車との合計が8万5千台以上」となっている。

問 現在、全国でどれくらいあるのか。

答 現在、ナンバープレートの地域表示については、全国で133地域のナンバーがある。

このうち、ご当地ナンバーの導入状況については、平成18年10月に初のご当地ナンバーが導入されて以降、現時点で全国46地域が導入されている。

問 若狭もPRの一環で、ご当地ナンバーを作つてはどうか。町長の思いは。

答 地域のPRの一環としてご当地ナンバーを導入することににつきまして、全国各地に「若狭」ナンバーの自動車が増えることは、走る広告塔として非常に魅力的であり、「若狭」という地域を知って頂ける絶好の機会と捉える。

しかしながら、若狭町の場合、登録車等の台数の要件から、単独での導入は不可能であり、複数市町での導入であれば可能性はあるが、その場合、台数の要件から嶺南全域の範囲を対象地域とすることになる。



きたはら たけみち 議員

中等度の難聴者に補聴器使用の助成を行つてはどうか

町長

支援の仕方を考えたい

問 難聴は、家庭や社会の中での孤立につながり、うつ病や認知症のリスク要因となっている。補聴器は、難聴が進行してからはなく、なるべく早い時期から使用するのが望ましいとされ、WHOでは「中等度の難聴者が補聴器を使用する」ことを推奨している。そんな中、国の補聴器購入助成制度(対象は身体障がい者、難病患者、難聴児)の枠を超え、補聴器の購入や調整に対して自治体独自の助成を行う市町村が広がりつつある。本町は介護予防のトップランナーを目指しているところでもあり、うつ病や認知症を予防するために、町独自の補聴器助成を行つてはどうか。

答 令和4年度に行った介護予防・日常生活圏域一又調査において、聞こえの問題などにより外出を控えている高齢者がいることを把握しており、難聴は家庭や社会の中で孤立につながりやすいと考えている。自治体独自の補助については、県下の自治体で導入しているところはないが、全国では152箇所ある。今後、当事者の方の意見や生活実態、および国・県などの社会動向などを見据え、難聴者の方の周辺との関わり合い方、専門的見地などを学習し、支援の仕方を考えたいと思う。

問 補聴器と違って余計な音は拾わず、目的の音や声をだけを難聴者に届ける磁気ループという設備がある。公共施設に設置してはどうか。難聴者の社会参加に役立つ。

答 磁気ループには、持ち運び可能な「携帯型」と建物に固定された「設置型」がある。「パリア若狭」の音楽ホールは、磁気ループを設置して建設された。10台の専用受信機が貸し出しできるので、難聴の方も講演や音楽を楽しむことができる。



いっばんしつもん

質問

(文責：質問者本人)

若狭広域行政事務組合議会

◆令和5年第2回

若狭広域行政事務組合臨時会を開催

7月28日(金)に臨時会が開催され、議長には高浜町議会の小幡憲仁議員、副議長には若狭町議会の島津秀樹議員が選任されました。

また、令和4年度一般会計予算繰越明許費(ごみ中継施設整備事業)が報告され、監査委員選任、令和5年度一般会計補正予算(第1号)にて広域可燃ごみ中継運営施設管理委託料の追加についての議案が上程、可決されました。

公立小浜病院組合議会

◆令和5年第3回

公立小浜病院組合議会が開会

8月28日(月)に本会議が開会され、報告2件(地方公営企業法第24条3項(弾力条項)の規定の適用、令和4年度資金不足比率)、認定1件(令和4年度事業会計決算)が上程されました。そのほか、全員協議会において、常任委員会委員の選任、レイクヒルズ美方病院の幹部職員の変動が報告されました。

閉会日は10月2日(月)で、審議の上、採決が行われ、可決されました。



いわたま 議員



想定以上の、少子高齢化に伴う児童数・生徒数・学級数減少を、町はどう考えているのか

問 現在の若狭町各学校の児童数・学級数は、また5年後はどう推移するのか。

答 5年後の予想は、小学校が児童数98人減、学級数3学級減、中学校が生徒数87人減、学級数4学級減と推計している。

問 明倫小と三方小の統合から1年経過した評価は。

答 苦情もなく順調に行っている。今後も保護者や地域の方々の意見を聞きながら運営に努めたい。

問 熊川地区と瓜生地区の話し合いの進捗状況は。

答 令和2年以降協議を続け、こども第一に考え令和7年4月統廃合に向け、今後も、会議を開催し進めていく。

問 小規模校が適正規模になる場合、県や国の支援は。

答 統廃合に伴う既存校舎の改修や通学支援(送迎委託費)や通学バス購入補助、統廃合前後2年間教職員への加配措置等がある。

問 学校規模配置適正化基本計画の見直しは。

答 アンケート等の予定はあるのか。

答 保護者や地域の方々からの意見も踏まえ、教育振興基本計画の基本方針に

このことから、ご当地ナンバーの導入を推進するためには、嶺南市町の「若狭」への名称を変更する同意と協力が必要となり、その上で、アンケートやヒアリングなど、ニーズ調査を行い、嶺南全域の住民の同意による合意形成を図る必要がある。

北陸新幹線敦賀駅開業により、若狭地域への注目が高まる中、今後導入を検討するのであれば、嶺南地域で連携を強め、ご当地ナンバー導入への機運を高めていく必要があると考える。

沿った見直しを考えたい。また、アンケートは必要に応じて検討したい。

問 児童及び生徒数の減少をふまえ、今後、中学校1校、小学校2校の構想はあるのか。

答 現段階では、児童・生徒数の推移を考慮し段階的に統廃合したい。小学校は複式学級2学級以上が続くこと見込まれる場合、中学校は、1学年1学級になると見込まれる場合統廃合の検討を考える。

現小中学校校舎は耐震改修も終えているので、既存校舎を活用しながら統廃合を進めたい。

小学校及び中学校の規模配置適正化の現状について

教育委員会事務局長

現時点では、児童数・生徒数の推移を考慮し、段階的に統廃合を考えていく



令和5年 12月定例会の日程

会期：11月24日(金)～12月15日(金)



- 本会議(開 会) / 11月24日(金) 9時
- 本会議(一般質問) / 12月 5日(火) 9時・[予備日]6日(水)
- 本会議(閉 会) / 12月15日(金) 9時

※詳細日程は、こちらから御確認ください。
 ※町ホームページにも掲載しています。



※一般質問は、原則翌日から行政チャンネルで録画が放送されます。

※本定例会で扱う請願・陳情の受付は11月15日(水)15時締め切りです(議会事務局)。

議会の動き



8月3日 小浜市・若狭町総合振興協議会(小浜市)



8月7日 福井県町村議会議長会知事要望(県庁)



今回の表紙

子供達の健全な育成と友好を拡げるため、小学生・未就学児・保護者対象にみそみ地区子ども会育成連絡協議会主催の「みそみスマイルキャンプ」を開催。テント組み立て・キャンドル作り・カレー作り、そして夜は花火大会に天体観測・肝試し、翌日は起震車体験と盛沢山の経験ができ、子供達の笑顔と共助の姿が見られました。

編集後記

今年には本当に暑い夏でした。農作物にも被害が出ているようです。世界中で温暖化による豪雨・台風・干ばつなど今までにない災害が発生し、日本でも豪雨による災害が多発しています。

当町での平成25年9月の台風18号による災害から今年で10年。「災害に強いまちづくり」が急務です。施設の整備も必要ですが、自分や家族の命を守り被害を最小限に抑えるためにも「予測力・予防力・対応力」という危機対応能力を常日頃から身につけておきましょう。

毎年行っている避難訓練は大切な訓練です。身近な災害対策や避難用の持出袋、避難先の確認などを行ってください。

災害は忘れたころにやってくる時代ではないのかも…。

(島津 秀樹)

